

向日市

おもな記事

- 公共下水道の整備スタート
- 都市施設を充実
- 折り紙を幼稚園に寄付
- 児童の世界を演じる
- 流派をこえて集う短歌大会
- 保育所入所申請書を配布
- 十二月のお知らせ

公共下水道の整備スタート

住みよい環境づくり

都市に必要な下水道

待たれる早期の整備

今日、大都市周辺の河川ばかりでなく、湖沼から海まで、わたしたちのまわりでは、水の汚れが進んでいます。

このため、市では、住民の生活環境を守るため、下水道施設の整備に取り組んでいます。そこで今月は、市の公共下水道事業に焦点をあててみました。



わたしたちの生活は、昔はスラムである。といわれるように、人口の都市集積と経済の高度成長によりもたらされた水質の汚濁、悪臭、その他の公害を防ぎ、豊かな生活環境と都市の美観を保つためには、公共下水道は都市にとって基礎的な施設です。

このように、公共下水道は、住みよい環境をつくるために、欠くことのできない都市施設といえます。

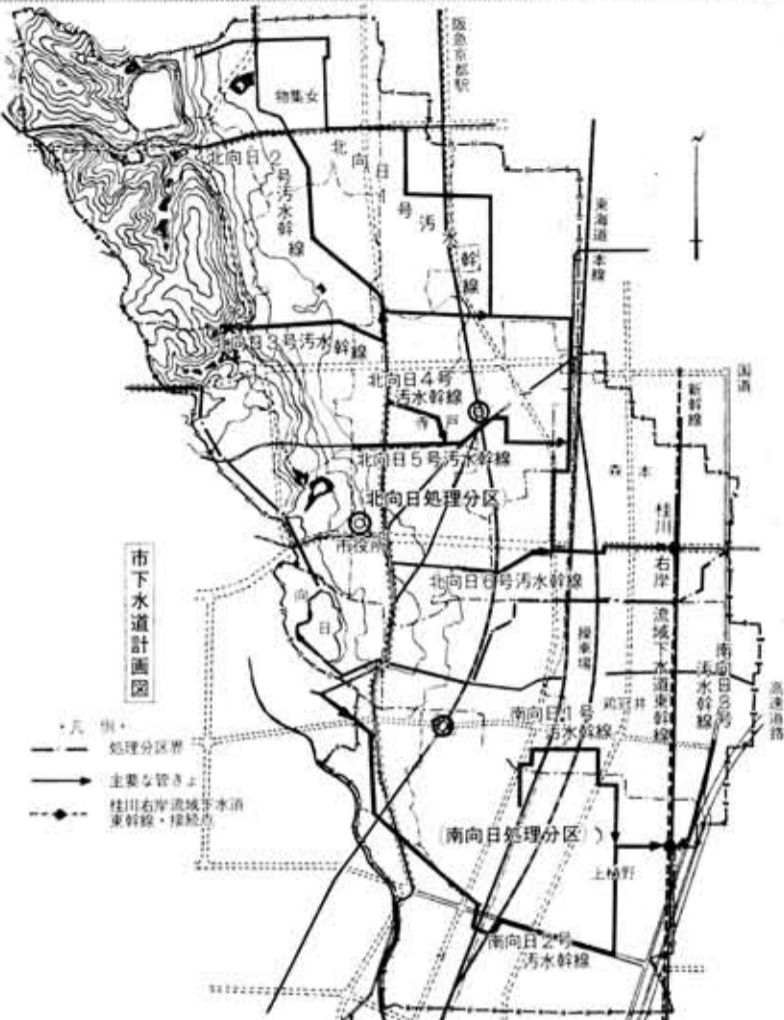
市では、京都府が事業主体の桂川右岸流域下水道事業の実施に伴い、公共下水道は、市街地の道路の下に、網の目のように下水管を深く埋設し、その下水管に家庭、商店、工場、事務所などで使われていらなくなった水を流し入れ、その汚水を京都府が主体となって実施している桂川右岸流域下水道に排除する施設です。

網の目に下水管を

事業認可下りる

市では、京都府が事業主体の桂川右岸流域下水道事業の実施に伴い、公共下水道は、市街地の道路の下に、網の目のように下水管を深く埋設し、その下水管に家庭、商店、工場、事務所などで使われていらなくなった水を流し入れ、その汚水を京都府が主体となって実施している桂川右岸流域下水道に排除する施設です。

市では、京都府が事業主体の桂川右岸流域下水道事業の実施に伴い、公共下水道は、市街地の道路の下に、網の目のように下水管を深く埋設し、その下水管に家庭、商店、工場、事務所などで使われていらなくなった水を流し入れ、その汚水を京都府が主体となって実施している桂川右岸流域下水道に排除する施設です。



都市施設に欠かすことのできない下水道は、どのような役割と効果があるのでしょうか。

下水道には、公共下水道、流域下水道、都市下水道、排水設備（私設下水道）といつた種類があります。市の計画している下水道は、公共下水道で、都市ごとに家庭、工場などからの汚水を集め、終末処理場で化学的に処理、きれいな水にかえ、河川などに放流していくものです。

下水道の役割と効果

くみ取りが水洗化へ

(1) 家庭や工場などからの汚水は、今までの側溝や用水路には流れず、地下に埋められた下水道に流れるので、まちの中を汚い水が、むき出しのまま流れることなく、葉っぱの切りくずや魚の頭がところどころに引っかけたり、悪臭を発生することもなく、まちの美観に役立ちます。

(2) くみ取り便所を水洗便所に改造することにより、また家を新築される場合、大がかりな浄化槽を設けなくても、直接下水道に、し尿を排出できます。

出でますので、くみ取り便所が水洗となり、カ・ハエの発生源がたれ、たいへん衛生的になり、快適な生活環境の改善に役立ちます。

六十年度を目標

市の事業計画

市の公共下水道事業は、処理区域を市街地中心に五百三十四ヘクタール、事業費約四十六億五千八百万円をかけ、昭和六十年度完成を目標に計画を進めています。

基本計画による市の処理区分は、大きく分けて北向日と南向日処理区分の二つとし、北向日区分には、一号から六号までの汚水幹線を、南向日区分には、一号から三号までの汚水幹線をまず建設する予定です。

下水道が完備すると...

初年度の事業計画は、北向日汚水幹線の森本町小柳地区で、桂川右岸の流域下水道幹線№4投入口より管道路の通行止めなど、市民のみなさんに迷惑をかけるおそれがあります。また事業認可に関する公共下水道事業計画の概略を要とされるため、市と住民の間には、都市計画課までお越し下さい。

公共下水道事業に際しては、工事の振動・騒音・市民のみなさんに迷惑をかけるおそれがあります。また事業認可に関する公共下水道事業計画の概略を要とされるため、市と住民の間には、都市計画課までお越し下さい。

“その一杯 ことわる勇気が 事故を断つ”



◀飲酒運転追放運動：12月10日～1月15日▶

ことしもあと少し。この月は、クリスマス、忘年会とお酒を飲む機会が多くなります。そこで気になるのが飲酒運転。「お酒の一杯ぐらい」という軽い気持ちの飲酒運転が、大きな事故につながります。

トラ年最後の月ですが、大トラ運転は絶対にやめましょう。

●市交通対策協議会●

